

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	中嶋崇史	所属	株式会社球磨村森電力	
専門領域	地域新電力、再エネ導入計画、事業計画策定、事業体制構築、温暖化対策実行計画、再エネ発電事業（太陽光発電、木質バイオマス発電、小水力発電）、オンサイトPPA・オフサイトPPA	居住地域／活動地域	全国	
キーワード	太陽光、PPA、VPP、営農型ソーラーシェアリング、木質バイオマス、小水力、廃棄物由来燃料、防災レジリエンス、地域マイクログリッド、EV・モビリティ、カーボンオフセット（Jクレジット等）、初期段階におけるビジョン・方向性の検討、ポテンシャル調査、区域施策編の策定、官民連携、住民や事業者との合意形成、意識啓発・行動変容、事業計画・事業性評価、事業体制構築、地域新電力、エネルギー会社設立、資金調達	派遣形式	スポット型or伴走型	
略歴	2004年4月に早稲田大学理工学部機械工学校に入学し、2013年4月に早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科にて、博士（工学）の学位を取得。2011年から3年間務めた早稲田大学研究室ベンチャー企業の株式会社早稲田環境研究所の代表取締役を経て、2014年4月に株式会社リクロスエクспанションを設立する。現在では、地域新電力会社として株式会社球磨村森電力、株式会社あさぎりエナジー、株式会社五木源電力を設立し、地域脱炭素を担う事業主体を運営している。			
過去の地方公共団体との関わり	2018年には球磨村との連携協定に基づき地域新電力会社として球磨村森電力（クマムラシンデンリョク）を設立し、2022年には環境省「脱炭素先行地域（第1回）」に選定される。また、2023年には熊本県あさぎり町において(株)あさぎりエナジーを設立し、環境省「脱炭素先行地域（第3回）」に選定される。さらに、2023年に熊本県五木村において(株)五木源電力を設立し、脱炭素先行地域で得られた知見の横展開を進めている。事業主体の設立のみならず、市町村の再生可能エネルギーの導入戦略の立案に携わる。球磨村では復興推進アドバイザーとして地域循環共生圏の視点から再生可能エネルギーを活用した地域活性化を推進する。			
一言	「この地域にとっての課題はなんなのか」、「解決するためには何が必要なのか」、「この地域はどのような方向に行った方がいいのか」などを「自分の立場を一度捨て」、「俯瞰的かつ客観的に見る」という視点で仕事をしています。また、脱炭素事業を進めていく上で、「熱量」を持ち、「成功体験」を積み上げていくことで、地域に「仲間」が広がっていくことが事業の成功の鍵と感じています。「地域にとって何かをすべきだ」と考える方々と一緒に、仲間づくりをしていきたいと考えています。			
参考URL	新エネルギー新聞掲載記事「 https://www.newenergy-news.com/?p=39774 」 朝日新聞掲載記事「 https://00m.in/UtkiR 」、読売新聞掲載記事「 https://00m.in/OQBaR 」、地域活性化ガイドブック掲載記事「 https://00m.in/qidFW 」			